

2025年5月29日から31日まで岡山市で第68回日本糖尿病学会が開催され、萬田記念病院から5演題発表しました。

毎日の診療で多忙な中、各医師が新たな問題点を解決すべく研究に取り組んだ結果を報告しました。各発表には参加者から質問があり、実りの多い会になりました。

発表された先生、お疲れさまでした。

- ・土田 健一 部長：
「持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬チルゼパチド 5 mg の 2 型糖尿病患者への長期投与の有用性の検討」
- ・坂東 秀訓 部長：
「LLM を用いた生成 AI に”SGLT2 阻害薬の効能効果について教えて”もらった際のハルシネーションの状況について」
- ・萩原 誠也 医長：
「保存期慢性腎不全 2 型糖尿病患者に対する SGLT2 阻害薬投与 3 年間における有効性の検討」
- ・続木 惇 医長：
「2 型糖尿病の血糖マネジメントにおける教育入院の患者アウトカムに関する研究」
- ・萬田 悟 医師：
「インスリン中止後にインスリン受容体抗体が陰性化し血糖マネジメントが改善したインスリンアレルギーの一例」